

# クラウドサービスを利用したシステムによる道路維持管理業務の効率化 (大分県大分市)

## 取組概要

- ・ 市民からの通報に対して、受付から対応までの一連業務をクラウドサービスを利用したシステムによって情報の入力/共有/管理を行う。
- ・ 蓄積された情報は、集計および分析によって予算化へのフィードバック/修繕計画等の立案/維持管理手法の見直し等に活用する。
- ・ 現場を移動する職員の位置情報から、通報や緊急時の現場対応を迅速に行う。

## 取組の効果

- ・ 通報情報がクラウドシステムで処理・保管されるため、報告書の自動作成で時間外勤務が49%削減され、ペーパーレス化によって年間約11,000枚のコピー用紙が節約された。
- ・ システムに蓄積されたデータを分析し、予算化へのフィードバック/修繕計画等の立案/維持管理手法の見直し等への活用が期待できる。

## 創意・工夫した点

- ・ 通報の位置を表示したピンの色が進捗状況にあわせて変化する。
- ・ 現場職員の携帯する端末の位置情報がシステムに反映される。

## 他団体へのアドバイス

- ・ 道路の維持管理業務以外の庁内業務にも利用可能な機能を有しており、全国の自治体においても導入可能な取り組みである。

人口 477,584人 (R4.1.1現在)

担当 道路維持課



【効果】通報記録作成に係る時間が短縮された。

- ・ 1件あたりの短縮時間 5.4分
- ・ 年間の短縮時間 5,500件 × 5.4分 = 29,700分 = **4.95時間**

事務処理の効率化 (省力化)



【効果】通報種別による検索で分布や傾向が可視化され、分析等が容易になった。

- ・ 予算化へのフィードバックとして活用する。
- ・ 修繕計画の優先度及び更新時期の判定に活用する。
- ・ 通報頻度から路線を特定し、管理方法の見直しを行う。

データの有効利用